

秋の中山路を駆け抜ける

「大山はまなすサイクリング2006」



元気いっぱいにスタートする参加者

当日はスタート後に雨が降り出すあいにくの天気でしたが、町内外から160人のサイクリング爱好者が集まり、一息坂峠まで上る上級者向けのAコースと、一般向けのBコースに分かれ、元気いっぱいに中山の自然の中を駆け抜けました。

サイクリングを終えた参加者たちは、中山温泉につかり、中山牛の焼肉に舌つづみ。また、中山まちづくり実行委員会名物の「がんじょ汁」を楽しみに参加する方も大勢いて、温かいがんじょ汁が雨に打たれて冷えた参加者の体を温めました。

その他にも、豪華賞品が当たる大抽選会やサイダー早飲み大会など内容盛りだくさんで、参加者は一日、スポーツの秋、食欲の秋、そして中山の魅力に浸りました。

「とりモー」のワッペンが胸に

10月1日（日）に中山まちづくり実行委員会主催の「大山はまなすサイクリング2006」がふるさとフォーラムなかやまを発着点にして行われました。

当日はスタート後に雨が降り

和牛王国復活にむけ熱意高まる



農業大学校の生徒と、とりモーがユニフォームを披露

秋晴れの下「第9回全国和牛能力共進会鳥取県大会」開幕1年前カウントダウンセレモニーが10月14日（土）、鳥取県中央家畜市場（琴浦町湯坂）で開催されました。

セレモニーでは、大会初となるブレザータイプの鳥取県選手団のユニフォームが披露されたあと、全共鳥取県実行委員会長の藤井喜臣副知事、片山善博知事ら6人が大会開幕までの残日計表の除幕を行いました。

披露されたユニフォームは、大会マスコットキャラクター「とりモー」のワッペンが胸に

全国共進会は、5年に1度の大会であり、平成19年10月11日から4日間、米子市（メイン会場）、境港市（サブ会場）、大山町（肉牛の部）で開催され、各都道府県から選抜された和牛約500頭が出品される予定です。和牛改良発祥の地である『和牛王国 鳥取県』復活への期待が高まっています。